

科目名		授業形態	担当教員名	
病理学概論Ⅱ		講義	宮下 久美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
疾病の各論について病理学的な観点から講義する。				
授業の到達目標				
病理学概論Ⅰで学んだ病態が各臓器でどのような疾患を引き起こすのかを理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	内分泌系の疾患(1) 総論・視床下部・下垂体			
2	内分泌系の疾患(2) 甲状腺			
3	内分泌系の疾患(3) 副腎			
4	消化器系の疾患(1) 食道			
5	消化器系の疾患(2) 胃			
6	消化器系の疾患(3) 腸			
7	消化器系の疾患(4) 肝臓・膵臓			
8	消化器系の疾患(5) 腎・泌尿器			
9	脳神経系の疾患(1) 脳梗塞・脳出血			
10	脳神経系の疾患(2) 変性疾患・脱髄疾患			
11	眼・耳の疾患			
12	呼吸器系の疾患(1) 閉塞性肺疾患 喘息・COPD			
13	呼吸器系の疾患(2) 拘束性肺疾患 サルコイドーシス			
14	呼吸器系の疾患(3) 肺がん			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%			
レポート・課題	40%	単元ごとにレポートを提出してもらい、その内容により理解度を評価します。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
系統看護学講座 専門基礎分野 病理学6版 疾病の成り立ちと回復の促進①		阪本穆彦	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				